

Port of Hachinohe

No. 14
Sep 2004

---Maritime & Trade Report---

- 青森県・メイン州貿易情報交換会
- 八戸セミナー2004
- 「日本食品輸出シンポジウム」開催のご案内
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 中国の日本産水産物
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター



メイン州からの概要説明

「青森県・メイン州貿易情報交換会」

青森県と米国・メイン州との友好協定締結10周年記念事業の一環として、去る8月5日、八戸港貿易センターにおいて、「青森県・メイン州貿易情報交換会」が開催されました。

八戸港貿易センターを訪れたのは、メイン国際貿易センターのジャーニン・キャリー副所長とコリー・クロッカー国際貿易専門員、水産物輸出入業「アイ・エス・エフトレーディング社」の玉置篤司社長の3名です。

午前中は、メイン国際貿易センターと八戸港貿易センターが、お互いの活動状況について意見を交換し、午後から県内企業11社も参加して情報交換会が行われました。

メイン州の産業は、農業、水産業、伝統的な製造業、ハイテク産業など多岐にわたっています。なかでも水産業が盛んで、ロブスターの生産高は全米1位の実績があることから、情報交換会では県内企業から水産物を中心とした質問がだされ、メイン州側からも日本の水産加工品への興味を示されました。

コーヒーブレイクの間も双方から活発な意見が交わされ、今後の経済交流の活発化が期待される会議となりました。



意見交換の様子



メイン州産ロブスター

八戸セミナー2004開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、国際コンテナ定期航路開設10周年を記念し、去る7月6日、八戸市及び八戸市企業誘致促進協議会との共催で、「八戸セミナー2004～港・産業・新エネルギー～」を経団連会館（東京都大手町）で開催しました。

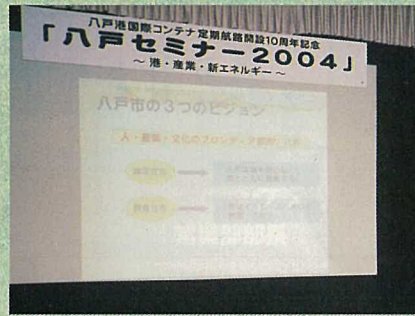
セミナーでは、八戸市長が、八戸市の掲げるビジョンや主な施策、八戸北インター工業団地などについて紹介し、実際に八戸を訪れていただく機会として企画した「八戸産業ツアー」への参加を呼びかけました。つづいて県の担当者が、港湾施設の概要や新規港湾利用者を対象とした補助金制度等の貿易支援体制について説明し、八戸港が順調に貨物取扱量を伸ばしていることをPRしました。

また、アルバック東北株代表取締役社長の小野信一氏と三菱総合研究所主任研究員の金田武司氏にそれぞれ講演していただきました。

小野氏からは「アルバック東北・八戸港を拠点として海外へ」と題して、横浜港と比較しての八戸港利用のメリットや、八戸港がアジアのハブポートとして機能するために求められることなどについて、実体験を基にしてのお話を聞くことができました。

金田氏からは、「水素エネルギーの動向と八戸における新たな産業振興の可能性」と題して、国内外における水素エネルギーの研究状況についての紹介のほか、八戸市が取り組んでいる新エネルギー事業の今後の可能性について、お話いただきました。

限られた時間でしたが、八戸市は十分な産業基盤が整い、多くのビジネスチャンスが存在する地域であることを知っ



八戸市について紹介する八戸市長



超満員の会場

ていただき、八戸港の利用及び八戸地域の企業との連携を検討している方々にとって、大変参考になったと思われます。

セミナー後の情報交換会には、船社、港湾関係者、製造業、新エネルギー関連産業など様々な企業から約400人が参加し、八戸市への進出の可能性や新エネルギー関連ビジネスについて、活発に意見が交わされました。今回のセミナーが八戸港の利用促進に繋がることを期待しています。

また今回は、約280年の伝統を誇る八戸三社大祭が国の重要無形民俗文化財に指定されたことを受け、手古舞と虎舞が祭りのPRを行いました。手古舞が豪華絢爛な山車の映像をバックに八戸三社大祭について説明し、お囃子の華麗なリズムに乗せて2匹の威勢の良い虎が会場内を練り歩き、参加者の目を奪う迫力ある舞を披露しました。八戸三社大祭をまだご覧になったことが無い方々には、ぜひ一度八戸を訪れ、日本一の山車をご覧いただきたいと思ひます。



八戸三社大祭を紹介する手古舞

迫力ある舞を披露する虎舞

八戸産業ツアーを実施

八戸市は、去る、8月3日～5日の3日間、八戸港の利用促進と企業誘致を目的に、「八戸産業ツアー」を実施しました。八戸に興味を持つ県外の企業から9名が参加し、八戸港や港湾施設、臨海工業地帯、北インター工業団地等の視察や、八戸三社大祭の見学、参加者と市との意見交換会などが行われました。

意見交換会では、ポートアイランドの利用方法やリングの輸出に関するアドバイスのほか、土地の価格や交通アクセスについてなどの要望が出されました。

参加者からは、産業のみでなく地域の伝統と文化についても知ることができ、八戸のファンづくりのため、今後も続けてほしいという声がかかるなど大変好評でした。



市内企業を見学する参加者の様子

海外販売員について（台湾、韓国） <青森県物産協会>

青森県物産協会では、これまでの物産展開催等に加え、新たな海外販路開拓事業として海外販売員の制度を設けました。これは、海外で青森県の産品を実際に営業していただくとともに、現地の情報収集、海外での商談会等開催時の活動支援等をお願いするもので、本年7月1日付けで、現

地の流通業界に詳しく、語学に堪能な以下の2名を海外販売員に任命しております。

お問い合わせ先

(社)青森県物産協会
TEL.017-777-4616 FAX.017-777-4620

台湾（台北）

■氏名：丘 玉蓉
■国籍：日本（台北市在住）
■現職：台湾大智資訊科技股份有限公司 総経理

■青森県とのつながり

ご主人の仕事の関係で、長年日本で生活していたことから、青森りんごとの縁が深く、台湾での県産りんごPR活動に長年御協力いただいている。

■今年度の主な事業

○青森県産ブランド輸出促進事業

【台湾(高雄)】

11月18日～29日 「青森と日本のうまいもの展」/物産展
11月21日～24日 「青森ブランド商談会in高雄」/商談会、市場調査
3月 台湾バイヤーの青森県招聘/商談

○青森りんご輸出プロモーション事業【台湾(台北・高雄)】

1月中旬 りんごの広告宣伝・販促キャンペーン、ミッション派遣



韓国（ソウル）

■氏名：福良義昭
■国籍：日本（ソウル市在住）
■現職：半島物産株式会社 代表理事
■青森県とのつながり

韓国で青森県産品を輸入し、見本市へ出品していたのが縁で、北東北三県・北海道ソウル事務所から推薦いただいた。

■今年度の主な事業（予定）

○観光物産セミナー I Nソウル（仮称）

【韓国（ソウル）】

11月22日 ソウル市内市場調査、関係企業訪問（青森県単独事業）

11月23日 「観光物産セミナー I Nソウル」/商談会（四道県共同事業）



「日本食品輸出シンポジウム」 開催のご案内

日本貿易振興機構（JETRO）
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

世界的な健康志向の高揚にともない、世界各地で日本食品の需要が増加しつつある中、北海道・東北産農林水産物の品質の高さを売りにした農林水産物輸出の取組みが始まっています。

本シンポジウムでは、高度成長が続く、輸出市場としての関心がますます高まっている中国（北京を中心にして）を対象とし、北京の果実市場のシェア8割を占め、本年初めて青森県産りんごを輸入販売された北京市果品の王兢氏には中国の果実市場について、マグロを中国国内で拡販されている大連翔祥の西村

卓美氏には中国の水産市場についてご講演頂きます。またパネルディスカッションを通じ、中国の食品マーケットで生じている様々な変化を明らかにし、中国向け日本食品輸出に重要な項目を整理、発表します。

食品メーカー・商社、農林水産物生産者、食品関連団体、また行政関係者等の幅広いご参加を頂きたく、次の通りご案内申し上げます。

- 日 時：2004年10月27日（水） 13：30～17：00
- 会 場：八戸プラザホテル 本館1F 「みやぎの間」
〒031-0081 八戸市柏崎1-6-6
TEL：0178-44-3121
※地図は下記URLをご参照下さい。
⇒<http://www.plazahotel.jp/map.htm>
- 主 催：日本貿易振興機構（ジェトロ）青森貿易情報センター（※農林水産省委託事業）
- 協 力：農林水産省東北農政局、青森県、八戸市、株八戸港貿易センター
- 参加費：無料

【プログラム】

I. 講演①

演 題：『中国における青果物市場の現状と展望』

講 師：北京市果品公司 副総経理 王 兢 氏

II. 講演②

演 題：『中国における水産物市場の現状と展望』

講 師：大連翔祥有限公司 総経理 西村 卓美 氏

III. パネルディスカッション

○櫻井 研 氏（コーディネーター、東京海洋大学 講師）

- 王 兢 氏（北京市果品公司 副総経理）
- 西村 卓美 氏（大連翔祥有限公司 総経理）
- 稲村 肇 氏（東北大学大学院 教授）
- 深澤 守 氏（青森県農林水産部 総合販売戦略課 消費宣伝グループリーダー）
- 安田 昌樹 氏（北海道漁連 販売事業部 部長代理）

【お申込方法】

下記ホームページから申込書をダウンロードして頂き、ご記入の上、FAXにてジェトロ青森までご送付下さい。なお定員（200名）に達し次第締め切らせて頂きますので、予めご了承下さい。

<http://www.jetro.go.jp/aomori/info2.html>

【お問合せ先】

日本貿易振興機構（ジェトロ）
青森貿易情報センター 担当：友田、田中
Tel：017-734-2575 Fax：017-773-2877
E-mail：aom@jetro.go.jp

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2004年9月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートして頂いております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT1

マニラレポート



加賀田 みどり さん

皆様 こんにちは。

フィリピンの6年に一度の大統領選挙も終わりました。70年ほど前には大統領の任期は4年で、しかも1回の再選は可能でしたが、アキノ政権のときの憲法ではマルコスの時のような独裁政権を再び起こさないように、任期6年・再選禁止と規定されました。

5月10日のフィリピンの大統領選の投票から、手作業の開票によって、41日ぶりに大統領には現アロヨ大統領と副大統領にはデカストロ上院議員の当選が確定し、その後、当選発表が行われました。

この選挙は、大統領から町議までの17,600のポストを争う統一選で、有権者数は4,354万人。投票所は295,500箇所、7,000余りの島々に散在していました。有権者は1枚の投票用紙に35人程の候補者を記入しなければなりません。

また集計作業は集開票所レベルを基本に町レベルを出し、町レベルを

選挙の開票結果

大統領		副大統領	
アロヨ大統領	12,905,808票	デカストロ上院議員	15,100,431票
ポー氏	11,782,232票	レガルダ上院議員	14,218,709票
ラクソン上院議員	3,510,080票	アキノ前上教育長官	981,500票
ロコ前教育長官	2,082,762票	パホ氏	22,244票
ビリアヌエバ氏	1,988,218票		

基本に市・州レベルを集計する仕組みになっています。ところが地理的な問題もあり船を使うなど、集開票所レベルのものや町レベルがそろわないに時間がかかり、市・州レベルのデータがそろったのは選挙から20日が過ぎた5月31日。また、集計作業は、公務員がするのではなく、上下両院各11議員が集計を行いました。

今回の選挙では開票にコンピューターを使う予定でしたが、自動集開票機購入に絡んだ疑惑が浮上したため、実現しませんでした。

選挙があり、集計作業があり、最終的には、当選者が発表されるころまでいきましたが、自国を考えた場合との違いを改めて感じさせられた選挙でした。

この季節、スーパーの果物売り場には南国のフルーツが所狭しと並べ

られています。そのなかでも代表的なものはマンゴーです。私が住んでいるアラバンビレッジは以前マンゴー畑だったので、ビレッジ内にもたわわに実をつけた大きな木がたくさんあります。とてもおいしいマンゴーですが、ウルシ科の果物でアレルギーがあるという人もめずらしくありません。においの独特な果物はパイヤとドリアンでしょうか。パイヤはまだ熟すまえに千切りにしてピネガー入りのドレッシングをかけるととてもおいしいサラダになります。ドリアンにはにおいがありますが、とても濃厚な味です。これはアルコールを飲んだ時をさけて食べるようにと地元の人のアドバイスがありました。



マンゴーの木

このところのマニラの気候は、雨期のため雨がよく降るようになりました。リゾート地もシーズンオフなので、日本人経営の旅行会社には8月



マニラのショッピングモール

末まで半額というところもあります。台風が来なければ雨期でも一日中雨が降り続けることはなく、空いているリゾート地は魅力的です。

フィリピンの気候の1年を通してみると、マニラの1月はとてもいい気候が続き、夜は、クーラーを使わなくても心地よく熟睡できるほどでした。散歩をしても（ビレッジ内だけですが）とてもすがすがしく、1年を通して暑い国だと思っていましたが、このように気持ちのいい季節があり喜んでおりました。2月は、だんだん暑さを感じるようになり、3月ごろから日差しはとても強くなり、犬の散歩も朝と夕方の日差しの弱い時間帯を選ぶようになりました。私たちは、1年中半袖で過ごしていますが、庭師さんやプールマンは、日差しが強いので、暑くても長袖を着て仕事をしている人もいます。建物の中では、クーラーが効きすぎて寒いところもあるので、ジャケットは、手放せません。5月の気温が最も高く雨も降らないので、朝夕1日2回庭木の散水が欠かせません。6月ごろからよく雨が降るようになりますが、一時的な雨なので日本の梅雨と少し違います。10月ごろまでが雨期で11月ごろから乾期に入り気温も少しずつ下がってきます。

1月ごろは、長袖の洋服なども売り出されています。モールなどではセールを一斉にはじめたりするので、気温の差が激しく変わらないマニラでは、衣替えの必要はなく1年を通して着ることができます。皆様もリゾート地に旅行にいらしたついでに、マニラのショッピングモールをのぞいてみると、とても楽しめると思います。

日本では少子化が加速し、人口の激減問題を抱えはじめているのではないかと考えられますが、逆にフィリピンでは人口の激増に対し、二人っ子法案が提出されました。しかし、大統領は「子どもを何人産むかは親が決めること」とし、審議は進んでいません。提出された二人っ子法案は、強制的なものではなく、子どもが二人までの場合に教育費の補助をするというようなものです。

日本の人口減少と高齢化に対し、フィリピンから受け入れを求められている介護師などの雇用は、おそらく近い将来不可欠なものになると思います。看護師や介護師の試験の問題もあるでしょう。また、外国人就労者の日本語会話については、首都圏のみならず地方で働く人のために、それぞれの市町村で学習の場を提供することが求められるのではないのでしょうか。私が以前住んでいたところには、ボランティアだけで教えている日本語教室があり、社会福祉協議会の協力を得て、市の福祉会館で週に1回行われていました。ボランティアのなかには教師を経験した人や子育てに余裕が出来た人などが集まり、豊富な経験をいかして活躍していました。

労働力受け入れに際し、大切なコミュニケーションのため日本語教師のボランティア育成をして、想定される問題に対する解決策を練ることなどで、この政策が成功へと近づいていくのではないかと思います。フィリピン女性の心のこもった看護や介護が、それを必要としている人々のために行われ、二国間の貿易交渉がお互いの国に利益をもたらすことを願っています。



日本語教室の様子

八戸港の貿易概況報告 (2004年1月～7月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、亜鉛塊・船舶等の不調により減少(前年比86.5%)。輸入額においては、重油・鉛鉱等が不調であり、ニッケル鉱・肥料等の増加も見られたが前年とほぼ同様(前年比100.2%)。輸出の主要国は、韓国・台湾・パナマ・中国、輸入では、中国・アメリカ・インドネシア等であった。外国貿易船入港数は、パナマ・韓国・シンガポール等より326隻。また、コンテナ貨物取扱本数は、東南アジア航路及び他港運送分の伸びにより前年比110.2%と増加している。

■平成16年1月～7月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	3	6,200,985	30.0%	98.8%
フェロニッケル	MT	62,901	16,780,103	111.4%	165.0%
有機化学品	KG	1,060,690	295,157	96.6%	36.5%
紙 製 品	MT	3,076	343,639	107.0%	117.8%
一般機械	MT	2,733	489,568	183.9%	65.4%
鉄鋼製品	MT	25,051	1,068,216	118.6%	115.6%
飼 料	MT	4,884	242,154	103.3%	96.1%
魚 介 類	MT	5,974	540,682	201.3%	188.0%
亜鉛塊	MT	0	0	全減	全減
電気機器			6,368,027		97.1%
その他	—		952,389		8.4%
合 計	—		33,280,920		86.5%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	159億7,609万 (61.8%)
輸 入	161億7,556万 (93.0%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	4,118TEU (111.8%)
輸 入	7,053TEU (109.2%)
合 計	11,171TEU (110.2%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	476,440	7,472,568	91.7%	92.5%
とうもろこし	MT	498,921	9,341,668	100.2%	117.0%
ニッケル鉱	MT	1,533,707	9,269,758	114.7%	155.4%
木 材	CM	73,008	1,884,236	89.6%	99.0%
亜鉛鉱	MT	92,589	2,916,712	120.9%	154.1%
大豆粕	MT	121,597	4,665,075	99.6%	131.2%
魚 介 類	MT	5,004	2,448,982	64.5%	79.8%
飼 料	MT	29,316	753,749	92.4%	86.4%
石 炭	MT	484,377	2,589,753	101.9%	122.0%
こうりゃん	MT	102,078	1,896,853	85.0%	90.3%
ウッドパルプ	MT		1,038,448		96.5%
カオリン	MT	74,200	1,390,748	125.2%	117.3%
肥 料	MT	16,106	360,226	217.2%	223.0%
重油等	KL	10,493	304,843	26.4%	29.3%
コークス	MT	49,764	989,133	73.1%	93.6%
鉛 鉱	MT	18,965	696,939	48.2%	65.5%
金属製品	MT	1,978	535,196	127.3%	156.0%
その他穀物	MT	12,761	218,630	98.4%	123.3%
糖 蜜	MT	3,486	22,295	128.9%	90.9%
一般機械	MT	1,697	387,811	110.6%	83.3%
その他	—		12,961,534		72.2%
合 計	—		62,145,157		100.2%

中国における日本水産品 (フカヒレ、アワビ、ホタテ)の動向

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

中国では毎年1,500トン以上のフカヒレが消費され、年々その消費量は拡大しています。北京にはフカヒレの卸売業者が100社ほど存在し、平均で1社当たり年間1トンを販売しています。フカヒレの原料となる鮫は中国近海には生息しておらず、遠洋で鮫を捕獲することもないため、フカヒレは日本などからの輸入に依存しています。一方、アワビやホタテは中国でも生産しています。中国では1987年に大連で初めてアワビの養殖に成功してから15年、2002年には年間生産量7,500トンに達し、15年前の生産量の30倍に拡大しています。しかし、中国産のアワビは中・低級品で、高級品は主に日本、南アフリカ、中東、オーストラリアから輸入しています。なかでも日本産は最高級品として定評があり、大都市の高級料理店では、日本産の高級アワビは1杯最低3万円で、高級品でなくても日本産であれば、1万円を下りません。大連の長興市場では8センチ大の日本産活アワビが1キログラム約5千円で売られています。南アフリカ産は日本産に比べて小ぶりですが味も日本産に近く及びませんが、一般の料理店では南アフリカ産などを多く利用しており、価格も日本産の5分の1程度となっています。

日本産アワビの中でも、網アワビと呼ばれる青森産のマダカアワビが最高級とされています。次いで大間産のアワビ、吉品アワビと呼ばれる岩手県三陸町吉浜産のエゾアワビの順で高級とされています。干しアワビにした時にアワビ本来の味が損なわれないのは日本産だ

けであることや、環境汚染のない水質のよい地域で生育した極上の肉質ということで評価されています。

ホタテについては、もともと中国に生息していたアズマニシキや米国・日本から導入したアメリカイタヤやトウキョウホタテなどが、主に黄海南部や山東省などの沿岸で生産されています。2003年中国のホタテ生産量は70万トンに達しました。内訳はアメリカイタヤ56万トン、アズマニシキ10万トン、トウキョウホタテが4万トン。中国産ホタテは主に中国内で消費されており、その需要は今後3～5年で100万トンに達すると見られています。

ホタテの貝柱は主に日本とベトナムから輸入され、炒め料理、蒸し料理、スープに利用されています。日本の貝柱については、形が整い、粒が大きく、香りがよく味も濃厚、光沢があり黄金色に輝いて乾燥具合がよく、栄養価も高く美顔作用があると関係者は絶賛しています。

<高まる日本水産品への期待>

中国では富裕層の増加と健康志向の高まりが顕著となっています。また、食品の安全問題をめぐる事故は増加し、中国産養殖水産品の品質は年々悪化しており、日本産品の安全、清潔、栄養価に対する評価が高まっています。このように日本の水産品に対するイメージは高まりを見せており、今後、日本の水産品に対する需要は拡大するものと見られています。



AIRA会員紹介

今回は、株式会社ファーストインターナショナル様をご紹介します。

(株)ファーストインターナショナルは、平成6年9月に八戸市商工会議所青年部有志によって設立された、総合商社です。

地域の貿易会社として、地元各業種のお客様に商品を輸入し、また、青森県を中心とした地場産品を海外の販売先に輸出することを主な業務としております。

住宅関連では製材、合板、集成材、内外装建材、エクステリア資材などの輸入に力を入れています。

八戸港は、北米航路を含めた4つの定期航路を持っており、世界各国からの商品を直接八戸に輸送することが出来ます。より良い物を世界から、また青森



県の良い物を世界へ提供する(株)ファーストインターナショナル。輸入資材や海外取引の際には、お気軽にご相談ください。

株式会社ファーストインターナショナル

〒031-0041 青森県八戸市廿三日町2 YSビル3F
TEL.0178-71-2282 FAX.0178-71-2285

設立：平成6年9月

代表者名：代表取締役 吉田誠夫

主な取扱品目：輸出（りんご、長芋、人参、機械部品など）

輸入（2×4ランバー、OSB、集成材、サッシ、ドア、屋根材、石材、塗料、家具、枕木、大豆、塩、冷凍サバ、玉葱、人参、パイナップルなど）

上記に限らず、様々な商品の輸出入に取組んでいます。

セミナー開催のお知らせ

カナダ林産業審議会と共同で「ツーバイフォー工法設計セミナー」を開催致します。

内容は2×4概論、歴史、工法の特徴に始まり、最終2日目には構造図面（施工図）を理解し作成できるように御指導致します。

日時：平成16年11月11日(木)・12日(金)の二日間
午前10時より午後5時まで(初日受付開始
午前9時30分より)

場所：青森市文化会館 青森市堤町1丁目4番1号
(電話017-773-7300 FAX017-776-2066)

内容：1日目 2×4工法解説
2日目 実施図面作成

講師：山口 正 氏(北海道帯広市 ウッズ建築設計事務所 所長)

定員：50名

教材費：一般10,000円(AIRA会員は1社1名までAIRAが負担します。事務局までご連絡ください。)

お申込方法：下記主催者へ直接ご連絡ください。

主催：カナダ林産業審議会(COFI)-SPF本部
電話 03-5401-0533

共催：日本貿易振興機構(JETRO)青森、青森県輸入住宅促進協議会(AIRA)

後援：国土交通省、住宅金融公庫、(財)住宅保証機構、青森県、(社)青森県建築士会、(社)青森県建築士事務所協会

AIRAホームページリニューアル!

AIRAのホームページをリニューアルしました。今回は、会員様のご紹介を中心に内容を見直し、会員企業のご紹介や、展示場などの詳しい情報を掲載いたしました。

今後は、会員企業様からのお得な情報や、ちょっと知っておくと便利な内容などを取り上げていきたいと思っておりますので、皆様のホームページ巡回先として「お気に入りに追加」してください。



AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。お気軽に事務局までお問合せ下さい。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上二丁目1-13	0178-45-4331
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テーオー小笠原	青森市東道道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
蔚山(韓国)	6	8
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	5	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

ナビックス南星株式会社

営業部部長 近澤秋人 氏

南星海運(Namsung Shipping)は1953年に創立し、昨年50周年を迎えました。

現在、韓国釜山を基点に日本に7ルート、中国に5ルートの内容定期配船をしております。又、私どもナビックス南星はその代理店として、1998年に設立されました。

八戸寄港は奇しくも同じ1998年の8月より開始され、おかげさまで現在では週2便となり、それぞれ釜山経由、上海と青島への直行サービスを行っております。

投入船				
青島航路(350TEU型)	八戸	釜山	光陽	青島
Merry Star/Bonny Star	月	水/木	金	土
上海航路(700TEU型)	八戸	釜山	蔚山	上海
Liverty Star/Bohai Star	水	日	火	水

最近では、中国向けに青森特産の林檎の輸出等、八戸ならではの品目についてのお問い合わせをいただきましたが、 SHIPPINGをとおして、微力ながら地域の発展のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

南星海運は今年、710TEU型船を2隻建造いたしました。来年は950TEU船、2隻の建造を予定しており、船腹の拡充をはかり、皆様のご要望に沿うよう、サービスの充実に努めて参りますので、ご支援の程、宜しく願い申し上げます。



編集後記

日本は世界一のゴマの輸入国だそうです。そんなに食べているのかなぁと思いますが、練りゴマの団子やお餅はよく食べますよね。子供の頃はよく、お手伝いをしてすり鉢で作りました。最近ではゴマに含まれるセサミンの抗酸化作用が目ざされて、ゴマを使ったお菓子や調味料も増えました。セサミンはコレステロールが高い方や高血圧にも効果があり、二日酔いの防止にもいいそうです。

八戸のお土産品といえば、南部煎餅があげられますが、黒ゴマをたっぷり使った南部煎餅はその定番ですね。ゴマの南部煎餅を東京の知人に差し上げたところ「噛んでいるうちに味が出てきて、フランスパンのようだ。」と、とても気に入ってもらえました。普通ゴマ煎餅はそのまま食べますが、私の育った地域ではゴマ煎餅を天ぷらにさせていただくこともあります。機会がありましたら一度お試しください。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-27-3311	FAX:0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-20-1651	FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp